

若松公民館だより

〒264-0021 千葉市若葉区若松町2117番地の2 電話 043-231-7991
本紙は若松中、小倉小、若松小、若松台小、第32地区町内自治会に配布しています。



若松公民館の館長としての勤務が4年目を迎えました。昨年5月から5類感染症に変更された新型コロナウイルスは、今はほとんど話題に上がりなくなりました。利用者の数はコロナ前には及ばないものの、一昨年度に比べて千人近く増加しており、普段通りの生活に戻ってきたなど実感しています。しかしコロナが全く無くなってしまったことではないので、換気など感染予防に配慮してご利用くださるようお願いいたします。さて、前号の公民館だよりでは、当館が文科省より優良公民館として表彰されたことをお知らせいたしました。先日、千葉日報社の記者が来館し、混声合唱団の活動を熱心に取材してください。5月1日の1面に大きく掲載されました。館長としてインタビューも受け、非常に喜ばしく思っています。今年度の公民館運営についてですが、「学習を生かした活力あるコミュニティ」を目標として、「サークル活動の活性化とシニアの生きがい作り」、「異世代交流の

場作り」、「長期休業中の子どもの居場所作り」の3点を重点課題とし、特に異世代交流については、館を普段利用されている方と若い世代と一緒に活動することで、同じ地域に住む“人と人とのつながり”を考えた講座を企画しています。そして、「若松公民館運営懇談会」(年2回開催)では地域の代表の方々からご意見をいただきながらさらに充実した公民館運営を目指します。また、各区では「公民館運営審議会」を設置し、公民館の各種事業の企画実施につき調査審議を行っており、議事録はホームページで見ることができます。傍聴することもできますので、ご興味のある方はご覧ください。最後になりますが、



当館には図書室が併設されており、地域の知の拠点として約2万冊の本があります。どんな本があるのかなという気楽な気持ちで一度来館してみたいはいかがでしょうか。

若松公民館長 伊藤 直樹

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

～このような方々に支えられて公民館は運営しています～
運営懇談会委員 (委嘱期間 R6.6～R8.5)

- 小幡様・高坂様・中林様・林様 (利用者代表) ●秋元様 (第32地区町内自治会連絡協議会会長) ●大塚様 (第32地区コミュニティづくり懇談会会長) ●西村様 (若松中学校区青少年育成委員会会長) ●山田様 (若松中学校長) ●佐藤様 (若松小学校校長) 五十音順



▲S記者から取材を受ける合唱団の前会長の和男さん(中央)、新会長の啓子さん(左)、若林先生(右)。

場作り」、「長期休業中の子どもの居場所作り」の3点を重点課題とし、特に異世代交流については、館を普段利用されている

若松公民館クラブ等連絡協議会

秋の文化祭に向けて始動！

4月18日(木)に総会が開催されました。「若松公民館クラブ等連絡協議会」は、若松公民館を利用するサークルの有志からなる団体で、地域の発展を目的に活動しています。総会では、昨年度の事業や収支報告があり、新役員の選出が行われました。また、文化祭は、10月5日(土)・10月6日(日)に開催することが決定しました。新役員の皆様にどうぞご協力をお願いいたします。



◀令和6年度の新役員の皆様

【左から】こどもの Kai UliUli らぼ・靖子さん(副会長) / ラタンの会・君子さん(副会長) / 若松混声合唱団・千秋さん(書記) / 体操サークル・早苗さん(会長) / ローゼルの会・まゆみさん(会計)

令和6年度 公民館職員一覧

公民館の運営が、千葉市教育委員会から、(公財)千葉市教育振興財団に移行し、7年目となります。親しみやすい公民館づくりに努力してまいります。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 館長 伊藤 直樹 | 高橋 真知 (図書室) |
| ★ 彦坂 徹 (契約 / 主に図書室関係) | 齋藤 好賢 (図書室) |
| 中村 愛 | 遠藤 令子 (図書室) |
| (契約 / 主にサークル支援・事業) | 菘輪 裕美 (図書室) |
| 非常勤職員 小松 悦子 (事務) | 夜間管理 (17時～21時) |
| | 星 / 大友 (清掃も業務) |

★新規配属

12/3月の公民館講座報告

県のオンライン研修会で

当館の取組を発表しました

12月16日、さわやかちば県民プラザ主催のオンライン研修会「生涯学習・社会教育実践研究交流会〜人生百年時代・地域とつながる生涯学習〜」にサテライト会場として参加しました。坂月川愛好会・絵本の会・ローゼルの会の会員5人と、公民館と介護施設をつないだオンライン講座で実績のある土気公民館の事業担当者も同席し、ハーブ教室など継続した学びにつなげる取組について発表しました。国の政策を聞いたたり、意見交換をしたりと、難易度の高い内容でしたが、当館の取組や方向性を共有することができました。

調理、発声、コンサート、 当館にも日常が戻りました！

「袋でモミモミかんたんそばとそば粉のいちご大福作り」(12月10日)には、16組の親子が参加しました。講師の島崎朝美さん

は、栄養価の高いそば粉をもっと家庭料理に取り入れてほしいと熱意をもって指導されました。千葉県郷土博物館の天野良介館長による歴史講座(1月25日)は、大河ドラマで注目が集まった家康

について、「御成街道を整備した動機」に関する説を披露し、21人の受講生の興味を引き出しました。7年目となる歴史愛好家の広瀬正一さんによる講座(3月10日)。昨年に続き史料をもとに千葉開府について解説しました。広瀬さんは受講者の満足度を上げるために毎回努力されていますが、今回ははじめてパワーポイント(スライド)を使い、視覚的にも理解を深めてもらうよう試みました。ケーブルテレビ(ジエイコム)の取材も入り、講座の様子や広瀬さんの講座に対する思いが3月25日の夕方に放映されました。図書室によく来てくれるSちゃんのリクエストで



小学生を対象としたおかし作り講座(2月3日)。アーモンドパウダーとバターたっぷりのスノーボールと2色ゼリーを作りました。写真は常連のRちゃんと館長。Rちゃんには受付や調理の補助など、助手を務めてもらいました。



「公民館に初めて来た」という親子もいたことから、多くの人に足を運んでもらうためには多分野の事業を企画する必要性を教えてもらいました。

春休みの3月27日に子どもボイカル教室を開催しました。若松混声合唱団の若林文子先生と熊沢美雪先生のサポートのもと、発声練習や歌唱だけでなく体を動かす中で、緊張していた子ども最後には笑顔になっていました。

3月29日には、当館では初めて「歌うボランティア 男声合唱団ダンケ」の8人をお招きし、素晴らしい歌声を披露していただきました。「声量に度肝を抜かれた」、「男性の力強い声に感動した。若松混声合唱団とコラボした若林先生の曲もすてきだった」などアンケートは熱いメッセージがあふれていました。

優良公民館

表彰式に参加してまいりました。

前号におきまして当館が文部科学大臣表彰を受けたことをご報告しましたが、2月9日

に霞が関の文部科学省で行われた表彰式に参加させていただきました。このような機会に恵まれたことをあらためて地域の方々に深く感謝申し上げます。



賞状と盾は館内の窓口上に飾っています。

表彰式は、「中村さんが行っておいでよ。」という館長の言葉に甘え、出席させていただきましたが、各都道府県の立場ある方々が参列しており、厳粛な空気に包まれていました。一転、式典後のフォーラムはカジュアルな雰囲気です。公民館における社会教育とは何か」という問いにパネリストが「余白」「ライフライン」と各々の経験から回答していました。その様子は文科省のYouTubeでもご覧いただけます。(中村)